



デジタル化が進み、買い物、銀行振り込み、ワクチンの申し込みなど、官民間問わずサービスを受けるときは携帯電話やパソコンを操作する場面が多くなりました。そこで必要となるのがパスワード。しばらく使っていないサイトだと思いつけず、慌てるのがよくあります。

昨今のデジタル化は果たして便利なのか不便なのか？ もんもんとしているとき、3月25日付のニューヨークタイムズに「私は年老いているが、ほかではない。」スペイン銀行家の注目を集めた男性」という記事が目につきました。パーキンソン病を患う78歳の元医者男性が、50年以上利用していた銀行が営業時間を短縮するこ

とを知り、担当者と話したいと申し出たところ、アプリを使って面

会約束をとるよう言われまして。不当な扱いをされたと感じた男性はオンライン署名ができるサイトに、「私は年老いているが...」のタイトルで、「銀行や他の機関はサービスのオンライン化を急ぐあまり、高齢者や弱者を追いやっている」と書き込み、2カ月で60万人の署名を集めました。反響を受けて、銀行協会はシニ

ア顧客や弱者へのサービス向上を約束しました。男性は急速に高齢化が進むスペインで、見落とされがちな問題を指摘したことに感謝されたそうです。私の両親は職業人生を航空業界で過ごしました。業界に精通しているはずの両親が、デジタル化に

よる激変に付いていけないと嘆いています。オンラインで航空券を購入しカードで支払い、チェックインする工程や、乗客自身で機内席を選んだり荷物のタグを付けたりすることにも戸惑っています。技術の進歩によってさまざまな仕組みや進め方が猛烈なスピード

が開けなくなり2年。オンラインで料理教室やイベントをするようになりました。最初は「人と直接会ってこそ感じるものがある」と避けていましたが、やってみると面白い。何より遠く離れていてもつながることが出来ます。北海道や関東、ハワイやサンフランシス

を作ったり、スコットの教室の時は鹿屋のバラで作ったローズベタルジャムを送って、生徒さんには自宅で焼き上がったスコットとジャムを堪能してもらったりしています。料理を味わいながらおしゃべりするオンラインお茶会も楽しみの一つです。

デジタル化は便利？不便？

門倉多仁亜



で大きく変わってしまいました。急激な変化に取り残される人々をどう支援していくかが世界的な課題となっています。一方で、デジタル化によって新しい世界が広がったことも事実です。コロナの感染拡大で料理教室

コからもオンライン教室に参加し、てくれ感激しています。オンラインでも鹿児島食材をたっぷり堪能してもらおうとアイデアを練っています。指宿のオクラを事前に生徒さんに送り、オクラを使うミシシビ料理「ガンボ」

教室の生徒さんたちにも好評のトマトのシンプルサラダを紹介します。トマトは梅雨前の時期が一番おいしいと言われます。ドレッシングは新玉ねぎ4分の1個分をすりおろし、塩、こしょう、酢を各小さじ1、オリーブ油大さじ1、ハチミツ少々を混ぜれば完成。くし形に切ったトマトにかけて食べますが、他の野菜でもおいしくいただけます。

かどくら・たにあ氏 料理研究家。兵庫県生まれ。父は日本人、母はドイツ人。英国滞在中に料理製菓学校ル・コルドン・ブルーで学ぶ。食だけでなくドイツ生活の経験を踏まえたシンプルライフをテレビや雑誌で発信している。鹿屋市在住。